

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【公開番号】特開2011-209729(P2011-209729A)

【公開日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2011-042

【出願番号】特願2011-72360(P2011-72360)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/16

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月28日(2014.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シクロオレフィン熱可塑性ポリマーと、  
場合により、前記シクロオレフィン熱可塑性ポリマーからなるポリマー層中に含有され  
る導電性成分と、  
場合により、支持基材と、  
場合により、前記ポリマー層上に設けられる剥離表面層と、  
を備え、  
前記シクロオレフィン熱可塑性ポリマーは、約 7 0 ～約 2 0 0 のガラス転移温度を  
有し、かつ次式で表される構造を有し、  
ここで、各 R は水素、アルキル、又はこれらの混合であり、x は約 1 ～約 5 0 モル%、  
y は約 5 0 ～約 9 9 モル%である、中間転写部材。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の中間転写部材において、  
前記シクロオレフィン熱可塑性ポリマーは、約 1 0 0 ～約 1 7 0 のガラス転移温度  
を有する、中間転写部材。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の中間転写部材において、  
前記シクロオレフィン熱可塑性ポリマーは、0 . 0 1 %未満の吸水率を有する、中間転  
写部材。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の中間転写部材において、  
前記中間転写部材は、無端ベルトであって、  
前記シクロオレフィン熱可塑性ポリマーは、前記中間転写部材の構成要素の全固形分に  
対して約 6 0 重量%～約 9 5 重量%の量で存在する、中間転写部材。